



AED SOS

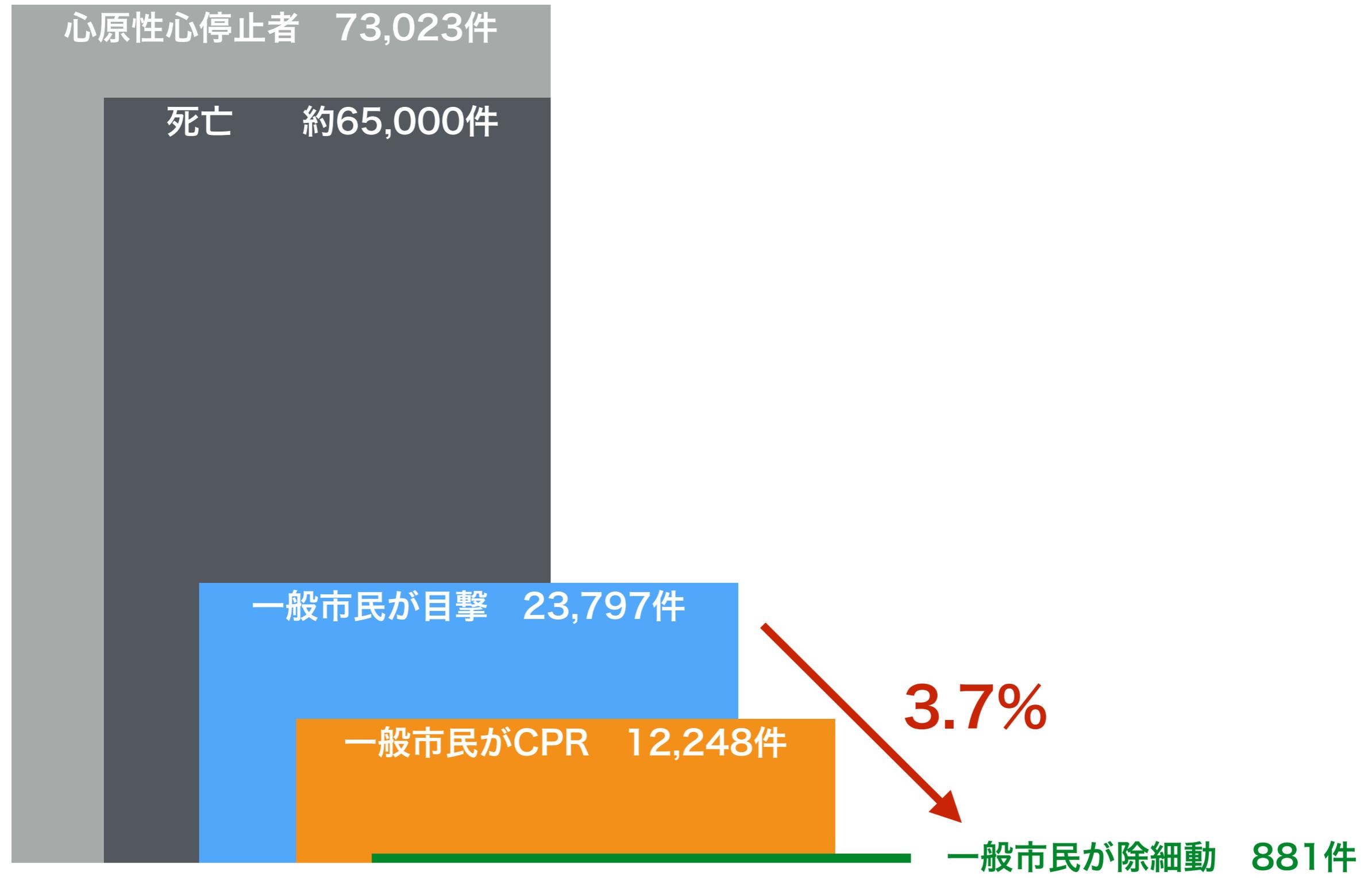
# AEDを届ける仕組みを作るアプリ



# 日本の心停止者数と一般市民の救命活動（平成24年度）

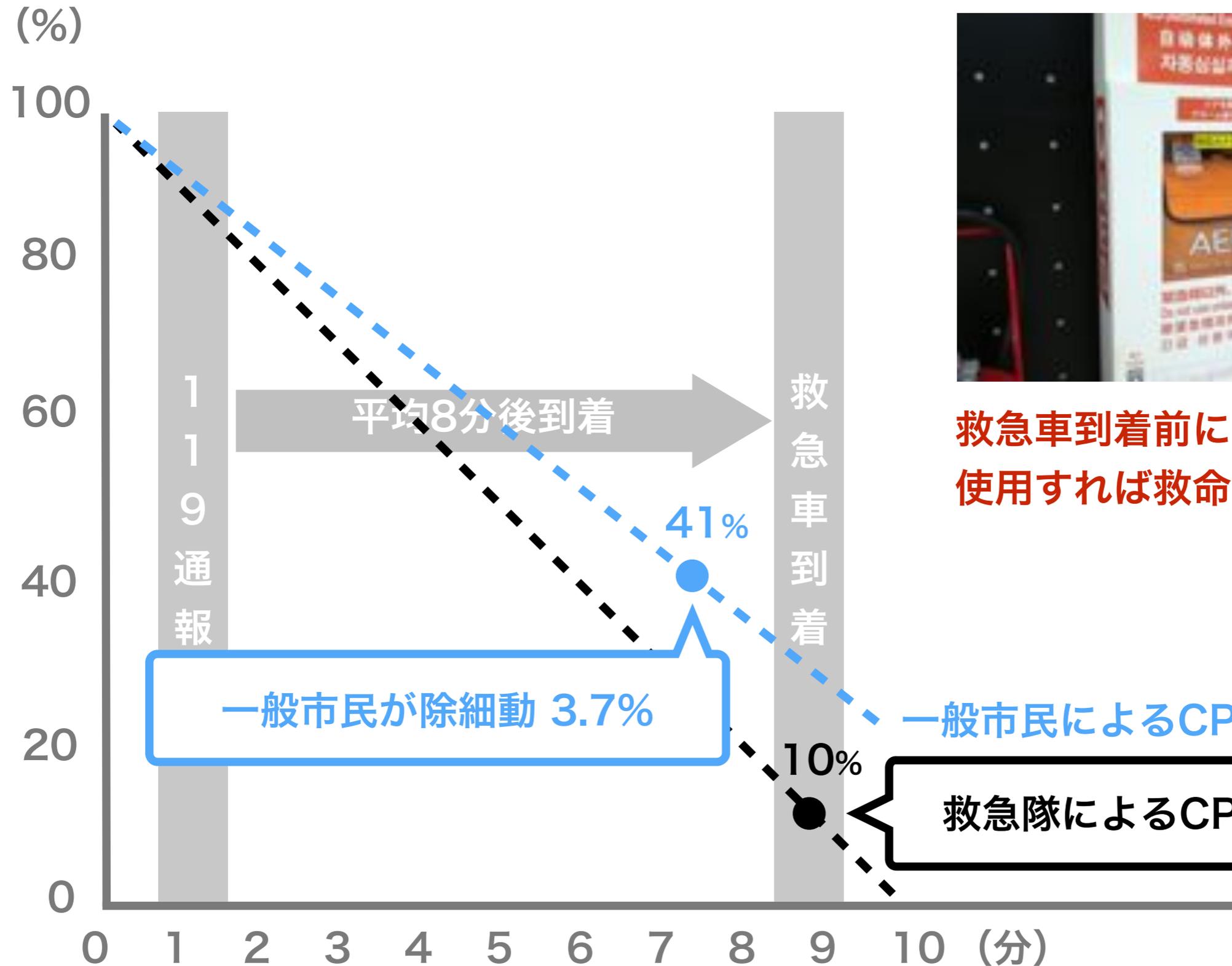
※平成25年版救急救助の現況（総務省消防庁）

※用語解説 CPR…心肺蘇生法 除細動…AEDでの電気ショック



# 救命曲線(心停止者への除細動までの時間と生存退院率)

※用語解説 CPR…心肺蘇生法 除細動…AEDでの電気ショック



救急車到着前に市民がAEDを使用すれば救命率は4倍に

一般市民によるCPR

救急隊によるCPR/除細動

※日本全国AEDマップより



日本は世界有数のAED普及国  
それでも突然の心停止者発生時に  
数分以内にAEDを使用するのは難しい

## 公助

- 119通報で場所を聞き救急車を出動
- 119から平均8分後に到着、心停止では遅い

## 自助

- 市民一人一人が救命講習を受講
- 受講者でも時間が経つと手順を忘れる
- 胸骨圧迫は重労働、複数人での交代が必要
- 一人ではAEDを取りに行けない

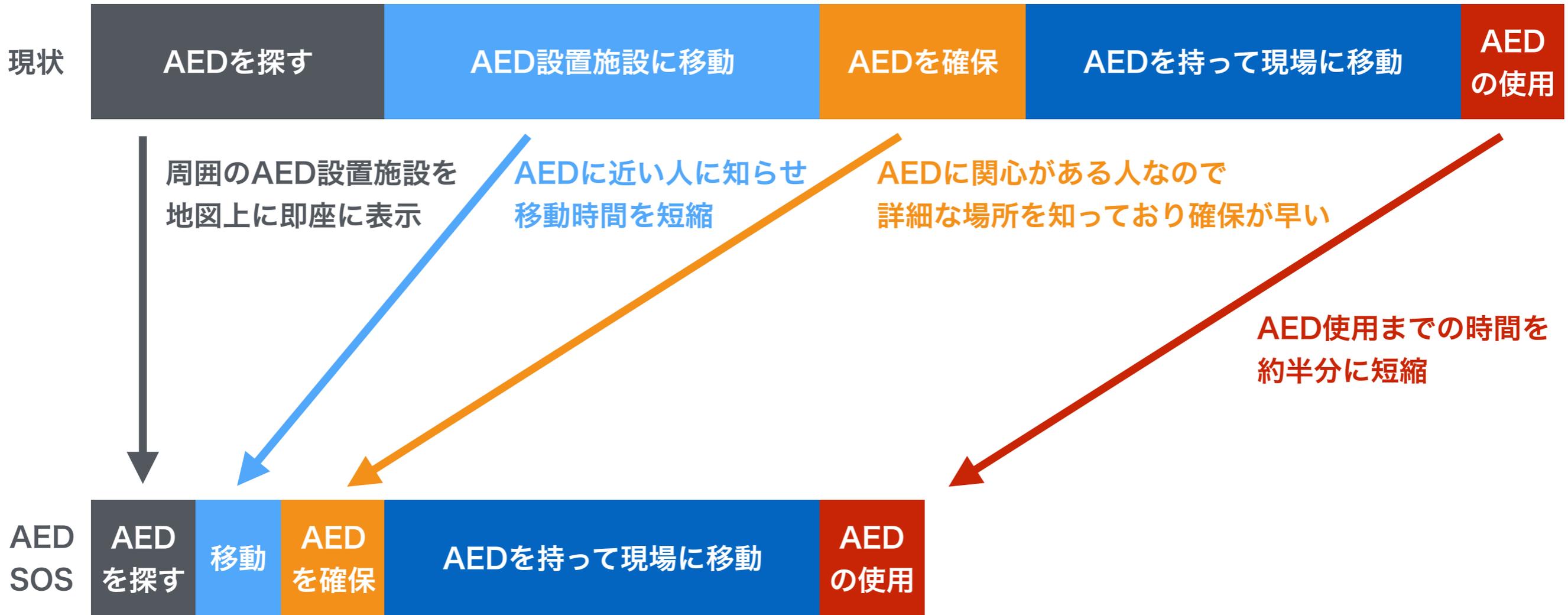
## 共助

- 周囲の人による救命協力
- 救命熟練者がその場にいるケースは稀
- AEDの場所を探す時間、往復移動で時間ロス

- アプリで自助・共助の問題点を解決し、公助と連携させて「心停止者の命が助かるのが当たり前の社会」を実現する

# 共助の力でAED到着時間を短縮しAED使用率を上げる

AED設置施設を知らない 現場の人が取りに行くので 施設内のAED設置場所を  
すぐに探すのは難しい AEDまでの移動距離が長い 探す必要がある



AEDに関心の高い人にユーザー登録してもらい、周囲のユーザーにSOSで知らせて届けてもらう仕組みを作ればAEDの確保までの時間を大幅に短縮し、現地に早くAEDが届いて救命率を上げることができる

## SOS発信者



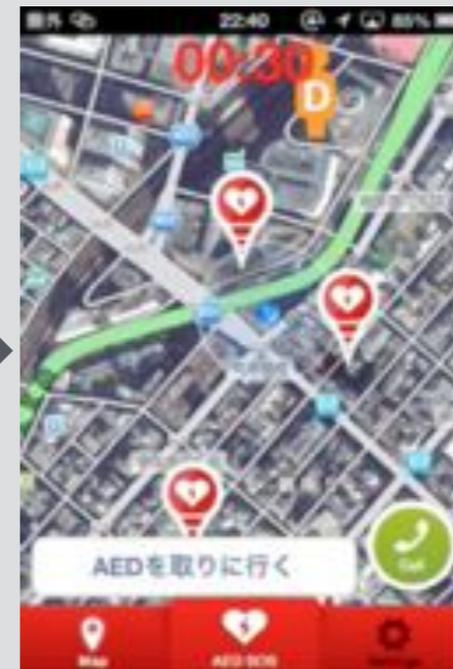
心停止者を目撃したら  
アプリを起動



ボタンを押して  
AED SOSを発信



半径500m内の救命登録  
者に位置情報を送信



手助けを表明した救命登録  
者の位置を地図上に表示



救命登録者と通話して  
現場の詳細な位置を伝える

※こちらはすでに開発しているプロトタイプの基本機能になります。現在、ローンチして実運用することを想定したα版をゼロベースで開発しています。

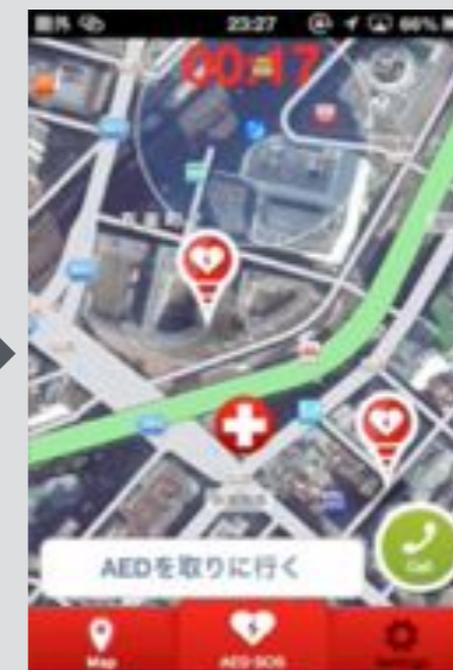
### <α版での変更項目>

- ・マルチプラットフォーム対応  
(iPhoneのみ → iPhone/Android)
- ・デザインの改善  
(フラットデザイン化、UI/UX改善)
- ・付加機能の実装  
(CPRガイド、訓練モードの追加等)

## SOS受信者



AED SOSの通知を受信  
アプリを起動



地図上で自分と付近のAED  
と現場の位置を確認



救命の手助けを表明して  
SOS発信者と通話

A map of Japan showing AED locations. Two red dots mark specific locations: one in the northwest (Fukui Prefecture) and one in the east (Tokyo).

福井県鯖江市

東京都板橋区

UDCT2013では上記2つのオープンデータを使用

今後は以下の方法で充実させていく

- ①他のオープンデータ提供都市のデータ実装
- ②各所が保有するデータのオープン化を呼びかける
- ③アプリ内に投稿機能を付加して独自にデータ収集



||

co (共に) aid (救助を) do (実行する)



代表取締役 CEO

玄正 慎



取締役 COO

丸山 智久



取締役 CCO

小野 哲生



技術顧問 CTO

松澤 太郎



京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター（予防医療学） 准教授

## 石見 拓（いわみ たく）

千葉県出身。1996年、群馬大学医学部卒業。循環器内科医として研鑽を積む中で、心臓病患者の多くは病院に搬送される前に亡くなり、病院到着後の治療ではこのような方達を救えない事実直面、病院前救急医療体制の充実や心肺蘇生普及の重要性を知る。その後、大阪に移り、病院外で心停止となった方々に対する救急医療体制を検証するプロジェクトに加わる。大阪大学医学部医学研究科・生態統合医学（救急医学）博士課程修了。京都大学大学院医学研究科・臨床研究者養成コース修了、2006年4月より現職に就任、現在に至る。市民への心肺蘇生の普及・啓蒙活動に従事、その効果検証にも力を入れる。前述のプロジェクトで、心臓マッサージだけのカンタンな救命処置でも効果があることを証明するとともに、NPO 大阪ライフサポート協会「PUSHプロジェクト（<http://osakalifesupport.jp/push/index.html>）」では『心臓マッサージ+AED』からなる簡易講習会の普及を目指し、各地で講習会・講演会を開催。その取り組みは国内のみならず、海外でも注目を集めている。

NPO法人大阪ライフサポート協会 副理事長

同協会PUSHプロジェクト 代表

減らせ突然死プロジェクト 発起人／実行委員／事務局長

大阪府心肺蘇生効果検証委員会 委員

石見先生の紹介で複数の消防、普及促進団体、NPOと交渉中



→クラウドファンディングの広報協力/今後の連携について実行委員会と調整中

クラウドファンディングによる初期運営資金調達



一部地域でクローズドα版テストの実施（複数の消防と交渉中）



大規模市民スポーツイベントでの実証実験（現在調整中）



全国対応したα版のローンチ



一部地域で119との連携システムの実証実験